



西濃の風

岐阜県立西濃高等特別支援学校
学校だより 第9号
令和2年1月31日 発行

○『進路講話』を行います (全学年)

2月4日(火)の第5・6限目に進路講話を行います。今回は、特別支援学校を卒業して企業に就職されている方と、その職場の上司の方から、職場における仕事内容や就労に関する経験などを講演していただきます。積極的に講話に臨み、数年後の自分の姿を想像できるといいですね。事前に聞いてみたいことをまとめておきましょう。

○1年生の第2期企業内実習が始まります

2月12日(水)から1年生第2期企業内実習が始まります。前回の実習とは違う職場で実習を行います。事前打ち合わせの要領もわかってきたと思います。自分から確認ができるように準備して行きましょう。日頃の取組により、メモを取る習慣が身に付いてきましたが、後から見てわかりやすいメモの取り方を意識して、事前打ち合わせに臨みましょう。

また、通勤方法の確認、万一降雪の場合にはどうするかなども考えておきましょう。

■失敗してもいい、次に生かそう！

今年度もいよいよ残すところ2カ月となりました。第8号にも掲載しましたが、これからの学校生活においては、本年度の振り返りとまとめをしっかりとしていきます。

その中で、特に注目したいことは、失敗をしたとき(例えば、寝坊などとしての遅刻、提出物の遅れ、あるいは、実習での失敗、友達やクラスメイトとのけんかなど)に、なぜそうなったのかという原因を考え、理解することが大切です。ほとんどの場合、失敗の原因は自分にあるのです。ごまかしたり、ストレスや人のせいにしては、その失敗はただの失敗で終わるだけで、次に生かすことはできません。ちゃんとその原因を考えましょう。そして、失敗した原因を理解し、次の一手(対処)を正しく行えるようになりたいものです。でも、同じ失敗を繰り返してはいけません。

就労を目指し、自分の力を高めるため、工夫できることがたくさんあります。また、友達や先生などにも相談してみるのもいい方法です。自分から行動することが重要です。

-
- ◇提出物の期限をメモする ◇時間割ノートを作り、毎日確認する
 - ◇実習手順を事前に予習する ◇ゲームの時間を決め必ず守り、生活リズムを崩さない
 - ◇忘れ物やミスをきちんと報告する ◇悪かったと思った時にはすぐに謝ろう
 - ◇決められたことをきちんとする ◇ルールを確実に守る ◇相談や確認をする
-

■社会の一員としての自覚を家庭と学校でともに育てましょう。

本校は、卒業後に就職し、社会自立をすることを目標にしています。そのため必要な学習活動を進めていますが、学校生活だけでなく、家庭生活で学ぶことも多くあります。

家庭は、社会の核となる最小単位の社会です。その中で役割をもち、責任を果たす経験を是非させていただきたいと考えています。まず身の回りのこと(起床、身支度の他に、挨拶、連絡や相談をすること)や家事分担が自分からできることです。次に、小遣いなどの金銭の管理をしっかりできることもその役割の一つです。高校生にとって妥当な額を子どもと相談して与え、使い道を考えさせ、余った時には貯蓄をさせるなど、保護者の方の助言、ルールづくりや状況把握はとても重要です。また、学校帰りにどんな行動をしているのか、どんな環境(店舗や交通状況など)であるのかなど、一度確認していただくことをお願いします。自分のことができるようになるには、時間がかかります。

社会に巣立つ日に自信をもって一步を踏み出すことができるようご協力をお願いします。